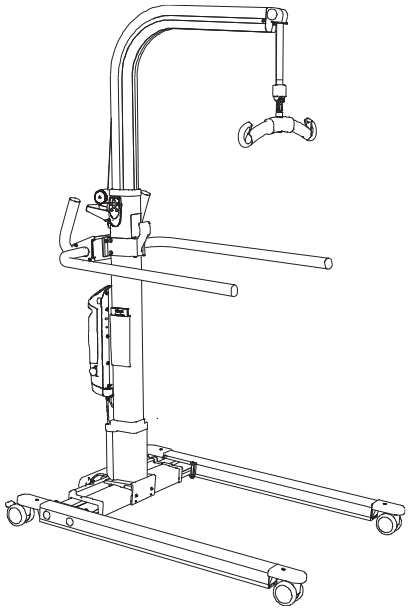
Golvo ゴルボ

使用説明書

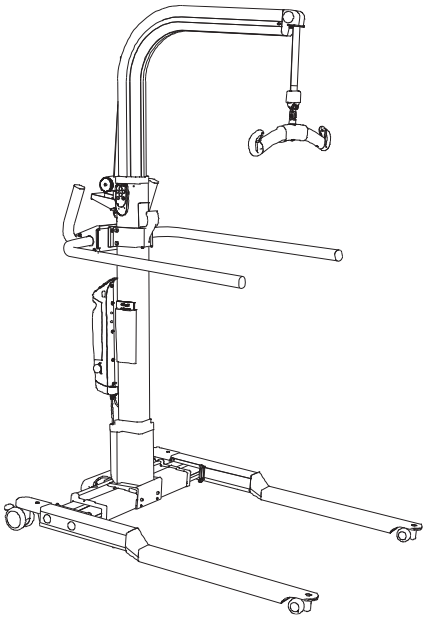
日本語
7JP140105-01
2010-06-14

以下のモデルに有効です:

Golvo ゴルボ8000	商品番号 2000014
Golvo ゴルボ8008	商品番号 2000015
Golvo ゴルボ8008ローベース™	商品番号 2000019



Golvo ゴルボ8000/8008



Golvo ゴルボ 8008 ローベース™

製品説明書

ゴルボは、例えばベッドから車椅子へ、トイレへの行き来、浴槽とシャワー、床へと床からのほとんどのリフト状況、計量の目的、及び ストレッチャーによるリフトでの使用を目的とする多目的な床走行型リフトです。折りたたみ式のアーム· レストがあるので、ゴルボは歩行訓練 に有効です。

ワイヤレスコントローラーを使用することで介助位置の制限がなくなるので、リフト状況における追加的な安全確保が提供されます。介助者にとっては、負担の掛からない姿勢での作業が可能になります。

ゴルボには、操作のデータを継続的に記録しリフトにサービスが必要な時に表示する監視システムであるリコ· ダイアゴニスティック· システム™ が装備されています。

リフトのバッテリーには、バッテリーがリフトに取り付けられていない状態でもバッテリーの充電状態が読み取れる内蔵の充電表示器があります。バッテリーは環境に優しいNiMH型です。

特別に低い脚部及び58 ~ 110 mmの高さ制限を持つゴルボ· ローベース™は、ベッド / 担架から又ベッド / 担架へのリフトに適します。

リフト使用の際は、機能の発揮と安全のために、個別にスリング及びその他のリフト· アクセサリーを調整する事が最重要です。

△ は、特に注意が必要であることを示す警告マークです。

本説明書中では、リフトされる方を利用者と呼び、手助けをする方を 介助者と呼びます。

重要事項！
使用前に、利用者リフトとリフト· アクセサリーの説明書の両方を読んで下さい。人のリフト、及び移動には必ずいくらかのリスクが伴います。説明書の内容の完全な理解が大事です。器具は訓練を受けた要員のみが使用すべきです。どうぞ疑問点や質問についてはLiko社にご連絡下さい。

目次

安全にお使いいただくために....2
部品の名称....3
技術データ....3
寸法....4
組立方法....5
分解方法....7
操作....8
赤外線ハンドコントロール....10
操作パネル....11
バッテリーの充電....11
最大荷重量....12
おすすめのリフト・アクセサリー....12
簡単なトラブル解決法....15
点検と保守....16

△ 注意! 本取扱説明書には製品を使用する方にとって重要な情報が含まれています。製品を使用する全ての方が取扱説明書を見直しをして、内容を完全に理解して下さい。製品を使用する方がいつでも見れる場所に取扱説明書を置いて下さい。

安全にお使いいただくために

この商品の 初回の 使用前に次の点を確認して下さい。
- リフトが、組立て方法の説明に従って組立てられている。
- リフト器具がリフトに正しく取り付けられている。
- バッテリーが、最低5時間充電されている。
- リフトとリフト・アクセサリーの使用説明書を読んでいる。
- リフトを使用する要員はリフトの正しい操作と使用について知っている。

リフト使用前に 必ず 以下の事柄を確認してください。
- リフト・アクセサリーは、 利用 者の必要に応じて型、サイズ、素材及びデザインを適切に選択された。
- リフト・アクセサリーに損傷がない。
- リフト器具がリフトに正しく取り付けられている。
- リフトベルトに捻れや擦り切れがなく、リフト・ユニットに取付けることができる。
- リフト・アクセサリーが垂直に下がっており、自由に動かせる。
- 怪我の予防の為に、リフト・アクセサリーは利用者に正しく安全に着用されている
- 安全ラッチが損傷していない。欠乏あるいは破損した安全ラッチは必ず交換して下さい。
- 利用者を下の面から吊り上げる前に、スリングのベルトが正確に引っ張られた時点で、スリングのストラップ・ループが正しくスリングバーのフックに接続されている。

△ リフト使用中は、利用者から目を離さないで下さい

ゴルボ8000/8008/8000 ローベース™は公認のテスト機関によりテストされており、医療機器指令のクラス1製品の条件を満たしています(MDD 93/42/EEC)。

ゴルボ 8000/8008/8008 ローベース™ はEN ISO 10535, IEC 60601-1, IEC 60601-1-2, ANSI/AAMI ES60601-1 及び CAN/CSA C22.2 no. 60601-1の要件を満たしています。

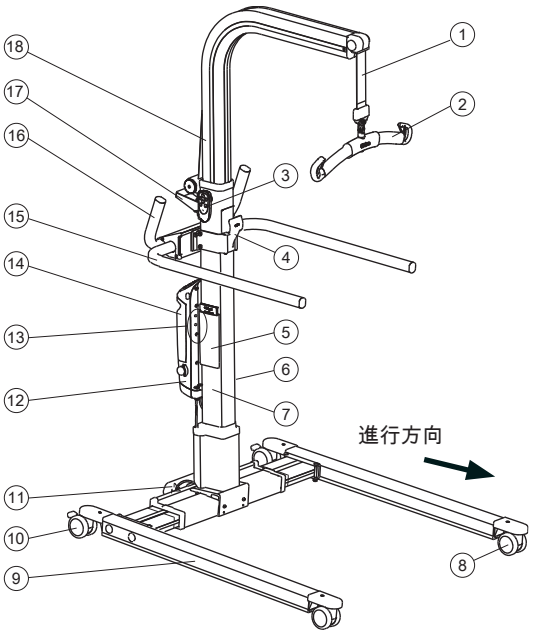
△ いかなる状況下でも、リフトを改造しないで下さい。ご質問のついては、リコにご連絡下さい。

ジアテルミー装置ののような強い障害のもととなる器具を使用する場合は、ジアテルミーのケーブルがリフト 上あるいはその近くに配置されない様に、特に注意を払ってください。不明な場合は、補助機器の責任者またはお買い求めの業者へお問合せください。

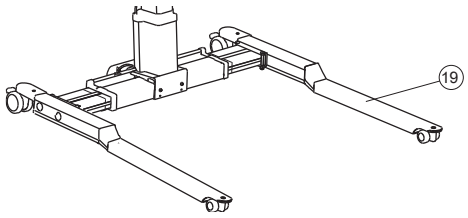
リフトは、例えば可燃物が保存されている場所等、可燃物の混合の可能性のある場所では使用しないで下さい。

部品の名称

Golvo ゴルボ 8000/8008



Golvo ゴルボ 8008 ローベース™



1. リフト・ストラップ
2. 安全ラッチ付きスリングバー
3. 赤外線ハンドコントロール
4. スリングバーの固定用パネル
5. 簡易ガイド用ホルダー 及びスリングサイズのカラー・コード
6. 製品ラベル
7. モータ内蔵のリフト支柱
8. 前輪
9. 脚部
10. ブレーキ付き後輪
11. 脚幅調整用モータ
12. 緊急停止内蔵充電器、及び操作パネル (電動緊急昇降) 付きコントロール・ボックス
13. コントロール・ボックス赤外線受信機
14. 電池
15. 折り畳み式アーム・レスト
16. ハンドル
17. 緊急下降装置 (手動)
18. リフト・アーム
19. 特別低い脚部(ゴルボ・ローベース)

技術データ

最大荷重量	200 kg
材質:	陽極酸化アルミ
重量:	8000: 42 kg 8008: 44 kg 8008ローベース46 kg 最重量の取り外し可能部品 : 8000: 18 kg 8008: 19 kg 8008 ローベース : 21 kg
車輪:	前 : 75 mm* 車輪対。 *ゴルボ・ローベース: 46 mm 車輪対。後 : 75 mm ブレーキ付き車輪対
最少回転直径:	Golvo 8000: 1240 mm Golvo 8008: 1330 mm Golvo 8008 ローベース: 1330 mm
緊急下降装置 :	手動及び電動
荷重無しでのリフト速度 :	二速; 41 mm/秒 及び 33 mm/秒
リフト間隔:	1260 mm (高さ調節可能)
騒音レベル:	52.8 dB(A)
プロテクション・クラス :	IP X4

操作力、コントロール:	ハンド・コントロール上のボタン: 4 N 表示上のボタン: 4 N
赤外線ハンドコントロール:	バッテリー: 2 AAA LR03 1.5 V、アルカリ 範囲: 2 m
電気データ:	24 V
間欠操作:	間欠操作 10/90、稼働操作は最高2分。与えられた時間のうち10%のみ稼働、しかし2分以内。
電池:	NiMHセル、 2.2 Ah。業者が 新品の電池を提供します。
充電器:	CBL20001、内蔵、 100-240 V AC, 50-60 Hz, 最高 600 mA.
リフト・モータ:	24 V, 6.5 A
脚幅調整用モータ:	24 V, 3.5 A

器具は室内での使用を目的とします。

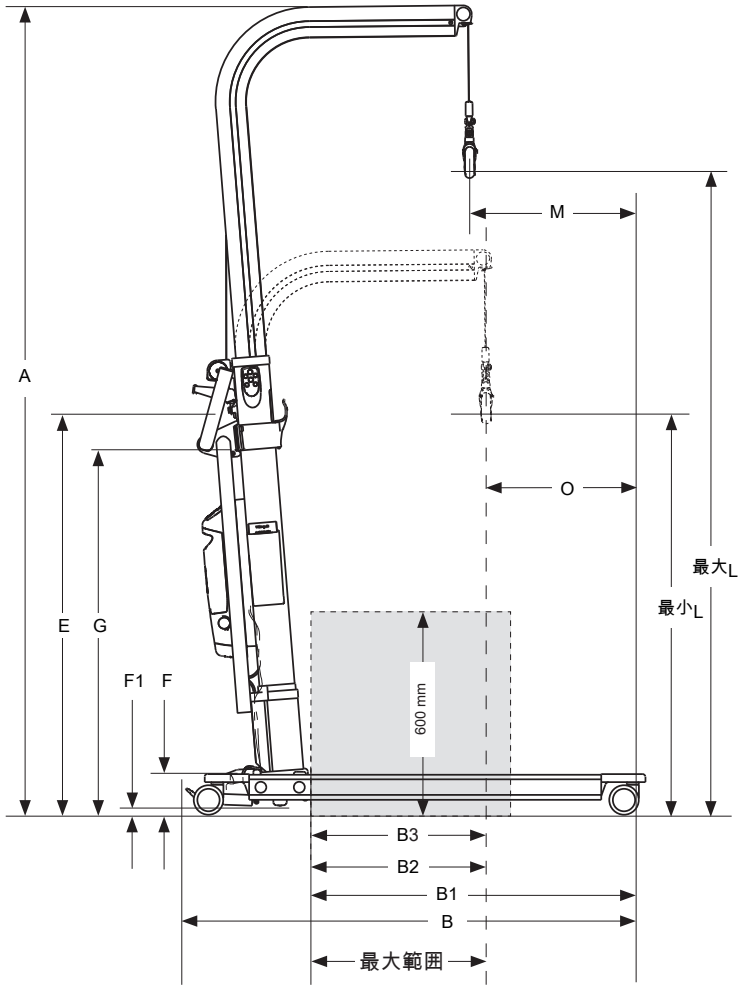
感電防止保護等級 : タイプ B。

機器等級 II器具。

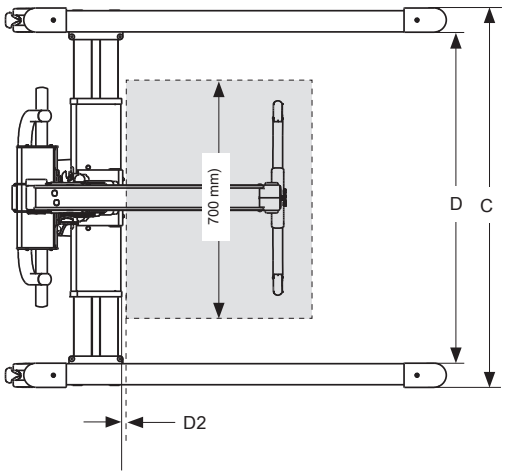
特許権有り

寸法

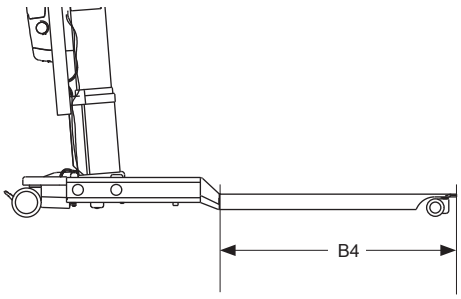
側面図



上面図



ゴルボ· ローベース



寸法表

(mm)

モデル	A		B	B1	B2	B3*	B4	C		D		D2*	E	F	F1	G	最大L	最小L	M	O
	最大	最小						最大	最小	最大	最小									
ゴルボ 8000	1995	1360	1115	800	435	435	-	938	654	826	543	0	975	105	25	840	1735	475	440	362
ゴルボ 8008	2090	1455	1185	870	480	480	-	1020	735	907	623	0	1100	105	25	940	1860	600	436	391
ゴルボ· ローベース	2090	1455	1185	870	480	480	600	1028	745	907	623	0	1100	60 / 105	22	940	1860	600	436	391

1260 mm のリフト間隔は高さ調節が可能です。9ページ参照。リフト高の寸法は、リフトが標準スリングバー及び標準車輪を装備しているものとしています。他のリフト· アクセサリーに変更する場合には、変更後もリフトが要求されるリフト高を提供出来かを確認して下さい。

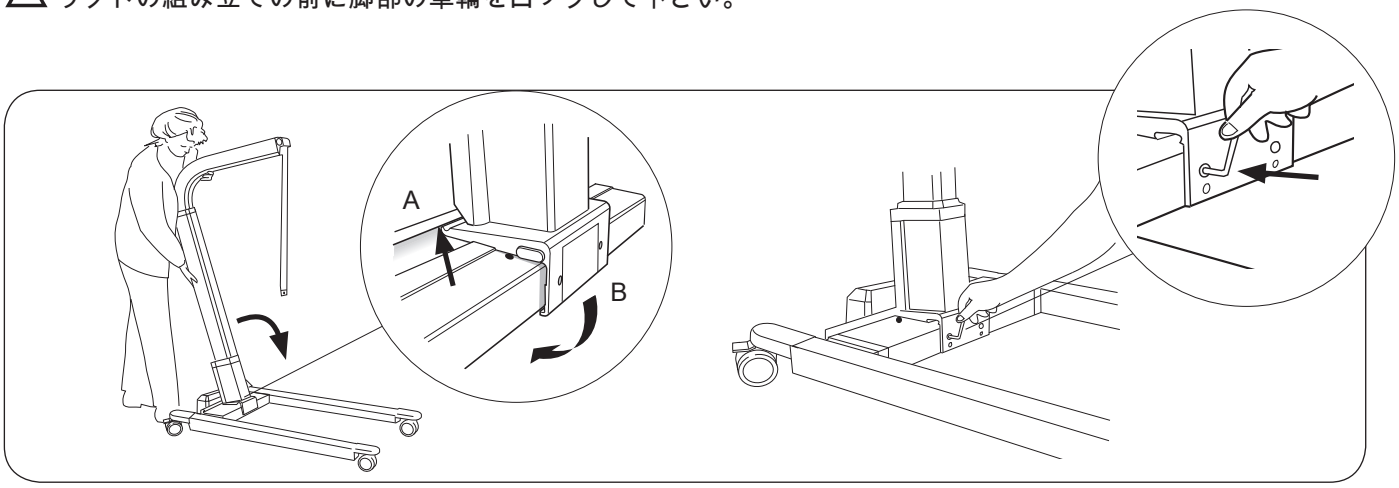
* 参照の寸法はStandard EN ISO 10535:2006による。

組立方法

本装置の組立を行う前に、次の部品や工具がすべて揃っていることを確認します。

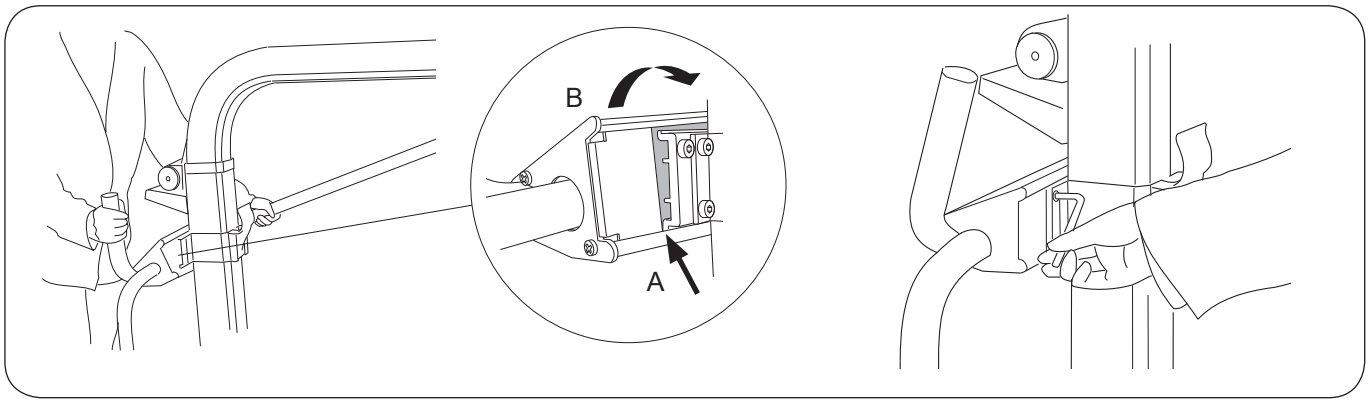
- リフト· アーム付きリフト支柱、リフト· アーム用モータ、コントロール· ボックス、安全ラッチ付きスリングバー 2 M6 ネジ、ボルト、ロックナット(M8)
- アーム· レスト
- 幅調整モータ付き脚部
- 電池
- 赤外線ハンドコントロール
- 次の物が入った袋：取扱説明書、簡易ガイド、緊急下降用のハンドル補強材、 充電ケーブル、充電コネクタ· ケーブル、ネジ(2)付きケーブル蓋, ハンドコントロール用代替サスペンション· クリップ、 ハンドコントロールを掛けるための粘着ボタン2個及び赤外線ハンドコントロール用の コード
- 工具： 13 mm スパナ、4、5、及び6 mm アーレン· キー

△ リフトの組み立ての前に脚部の車輪を口ックして下さい。



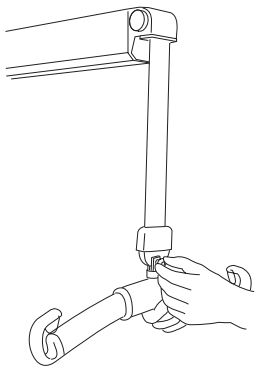
1. リフト支柱の下部にある輸送用保護材 (金属板) のネジを緩めて外して下さい。輸送用保護材、その付属ネジ及び赤い情報マークを取り外します。
   A) リフト支柱を脚部の十字の部材上の二つの黒いプラスティック· プラグの間に置いて下さい。
   B) 次に、リフト支柱を上記の図の様に前に押して、十字の部材に引っかけます。

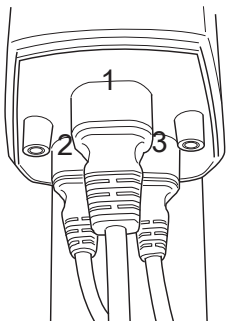
2. リフト支柱の上部の穴に用意された二本のM6のネジをねじ込みます。
   下部の穴にはネジを入れないで下さい！

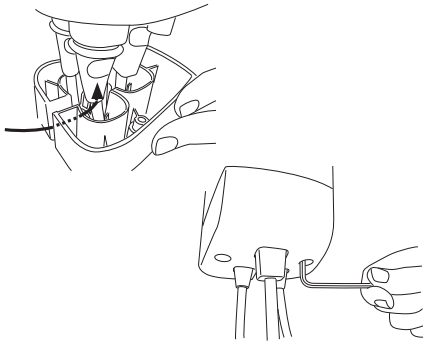


3. A) アーム· レスト部を、リフト支柱の付属部に、まず下の溝から入れて下さい。
   B) アーム· レスト部の上部の溝に引っ掛かるまでアーム· レストを下げて装着します。事前に組み立てれている M8 ネジはどれも完全には取り外しませんが、緩める事は必要かも知れません。

4. 予め取付けられているM8ネジを締め付けて、アーム· レストを固定してください。



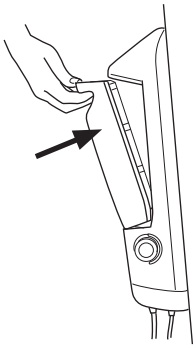


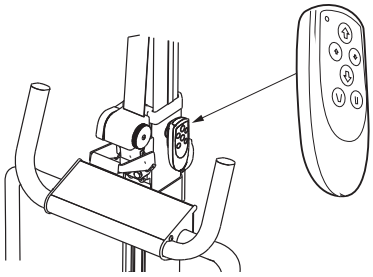


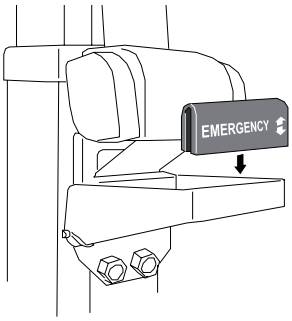
5. 提供された ボルト 及びロック· ナット(M8)を使ってスリングバーを組み立てて下さい。ボルsトが正しく締められているかを確認して下さい。

6. 次の要領でケーブルを接続して下さい。
   - ソッケット 1に充電ケーブル
   - ソケット2に、リフト用モータのケーブルを接続します
   - 脚部幅調整用モータからのケーブルをソケット3に

7.ケーブルを ケーブル用蓋に通して下さい。 蓋も押し上げて、 提供 された アーレン· キー及びネジ(2)で固定して下さい。



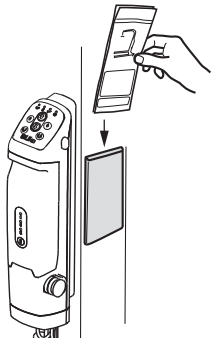


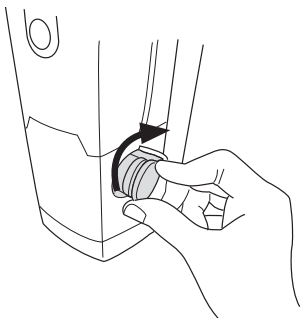


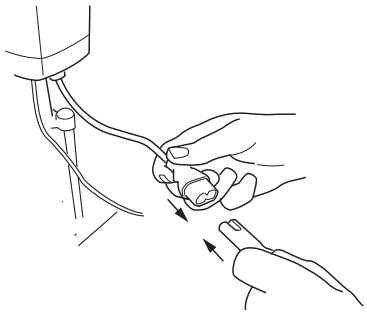
8. バッテリー をコントロール· ボックス内の専用ブラッケット入れて下さい。バッテリーがその位置に固定されているか確認して下さい。

9. ハンドコントロールを支柱の緑「ボタン」に掛けて下さい。ハンドコントロールを掛ける為に、2個の 予備の 粘着「ボタン」が用意されています。

10. ハンドル強化材を押しつけて止め、「緊急下降」の文字が緊急下降ハンドル上に見える様にして下さい。



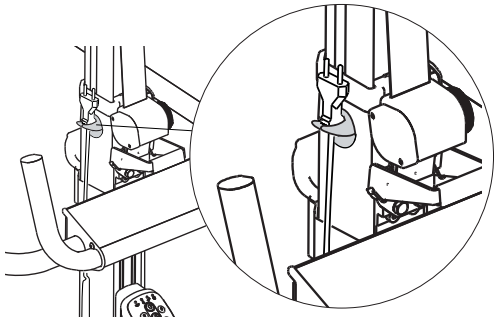




11. 簡易ガイドをリフト 支柱の専用ホルダーに入れて下さい。

12. 緊急停止ボタンをボタン上の矢印方向へ回して緊急停止を解除してください。

13. 初回の使用前に、充電ケーブルをコネクタ· ケーブルに差し込んでバッテリーの充電を行って下さい。次に、充電ケーブルを 電気ソケットに差し込んで下さい (100-240 V AC)。約5時間でバッテリーは完全に 充電されます。



14. 充電が完了したら、充電ケーブルをリフトの支柱の専用のホックに掛けて下さい。

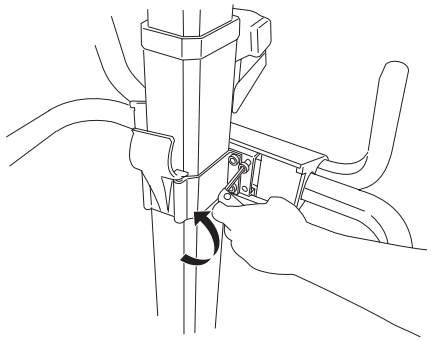
15. 操作パネルのボタンをどれか押して赤 外線システムを稼働して下さい。

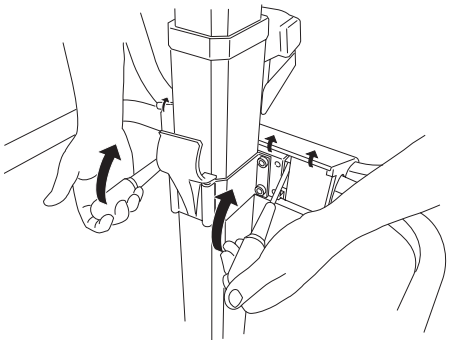
組み立て後に、次の点を確認して下さい。

- リフト・アームの動きはハンドコントロール/操作パネルのボタンに対応する；
- 緊急下降装置が機能する。（手動と電動）;
- 車輪のブレーキが働く；
- 脚部幅調節機能が作動する；
- 電池は充電されている。

分解方法

1. まず、スリングバーまたはリフトに取付けられている他のアクセサリーを外してください。
2. 次の手順でアーム・レストのホルダーを取り外してください。



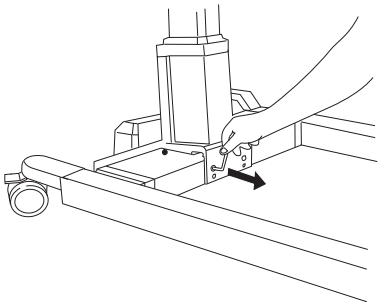


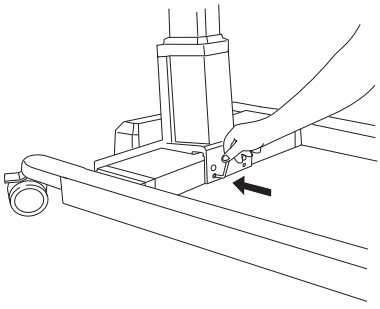
A. リフト支柱のいずれかの側のアーム・レスト・ホルダーから二個の M8 ネジを緩めて下さい。

B. 二本のドライバーを使って、アーム・レストのホルダーを取り外します。

3. ハンドコントロール、リフト・モータ、及び脚部幅調節モータからケーブルを外して下さい。
4. 下記の要領でリフト支柱を取り外して下さい：

△ リフト支柱を脚部より離した際に、倒れないように支えて下さい。

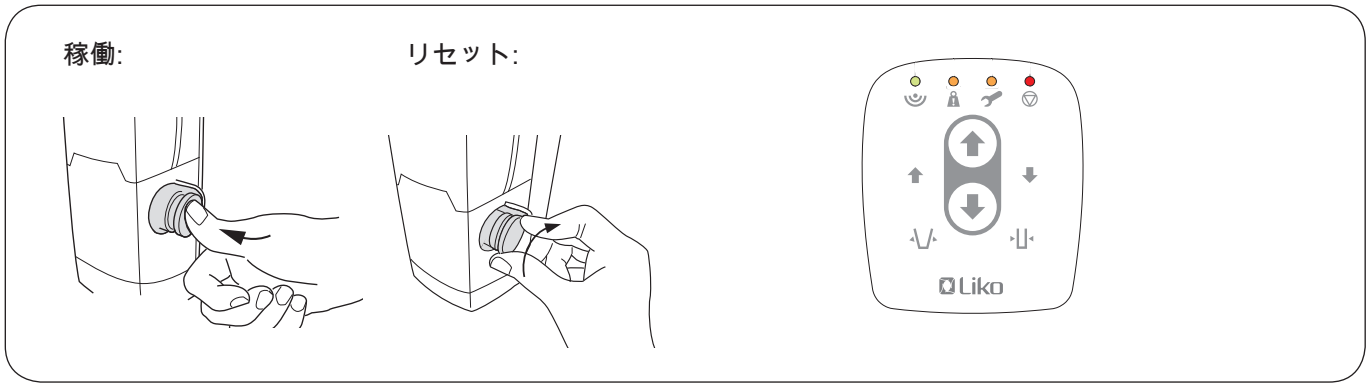




A. 両方の安全ネジを、リフト支柱の上部穴から取り外してください。

B. 安全ネジを、リフト支柱の下部穴にネジこんで下さい。これにより、脚部からリフト支柱が解放されるので、取り外すことができます。

操作



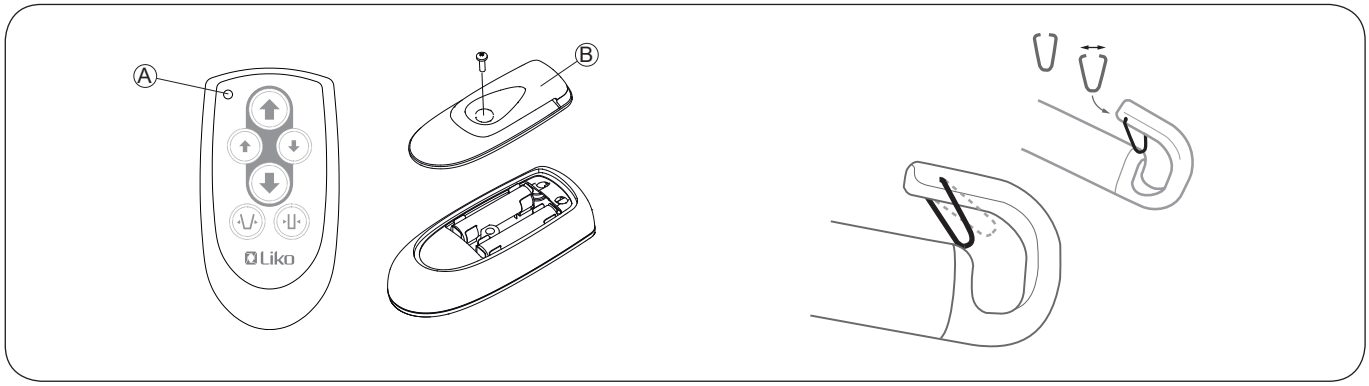
緊急停止装置

稼働： コントロール・ボックスの赤いボタンを押してください。

リセット： ボタンを矢 印 方向へ回してください。

電動の緊急昇降装置

リフト・アームはコントロール・パネルのそれぞれ「下」及び「上」の印のいずれか一つを押して、電動的に上下させます。



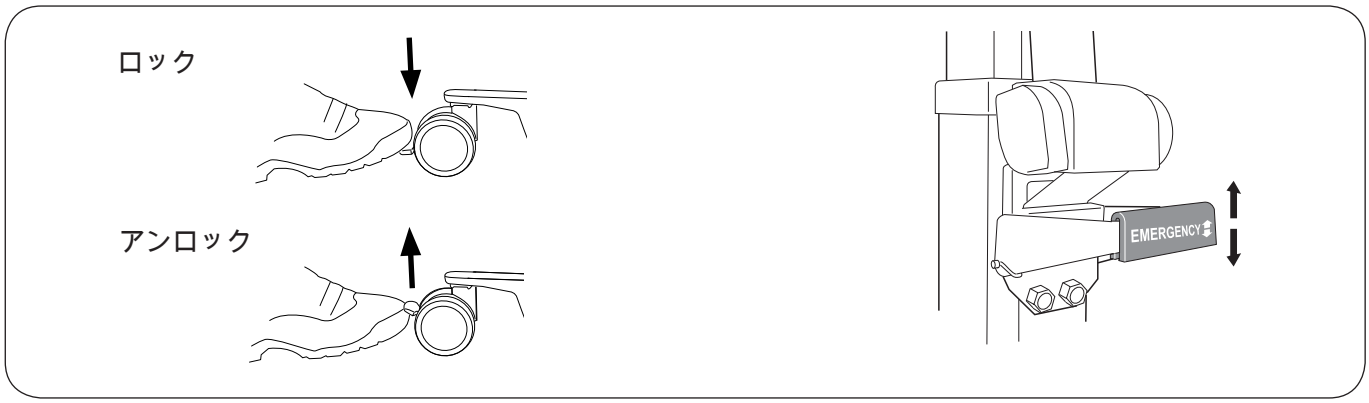
ハンドコントロールの電池の交換

ハンドコントロールの表示器 Ⓐ が点滅 (黄) した場合、ハンドコントロールの電池を交換して下さい。AAA LR03 1.5 V, アルカリ型のバッテリーを2個 ご使用下さい 。

プラスのネジまわしを使ってバック・カバー Ⓑ を取り外して下さい。バッテリーを交換して下さい。バック・カバーを戻して下さい。

安全ラッチの設置

設置後、安全ラッチがロックし、自由に スリング・バー・フックを走るかを確認して下さい。



車輪のロック

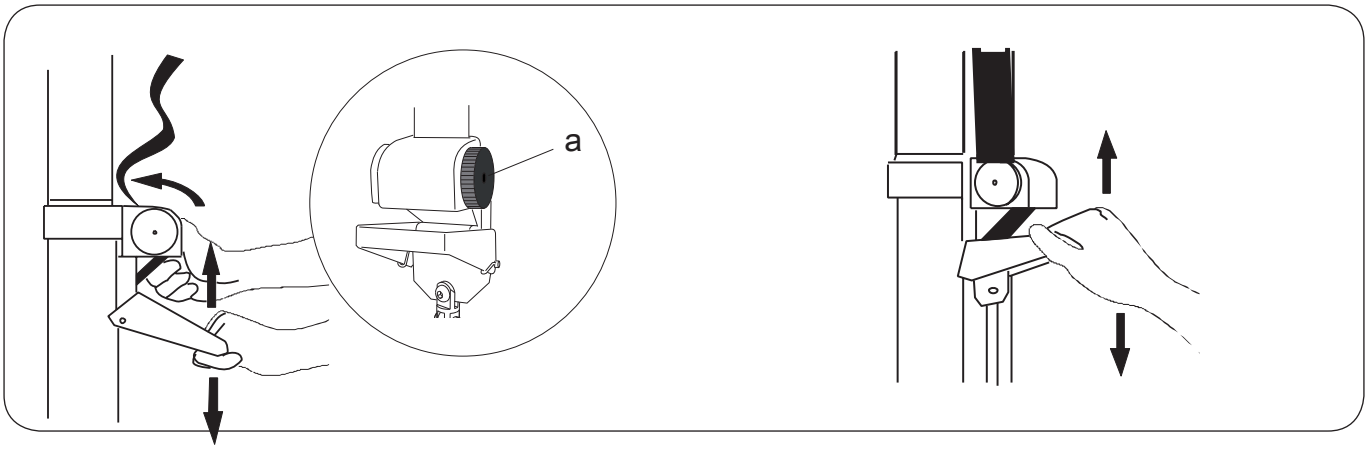
後輪は、回転や方向転換をしないようにロックすることができます。車輪をロックするには、足でブレーキのペダルを踏んで下さい。ブレーキを解除するには、車輪の近くにある上げられたボタンを押して下さい。

リフトの作業中は、利用者の重心に合わせてリフトを動かせるように車輪にブレーキをかけないでください。ただし、床から吊り上げる時などで、リフトが動き利用者にぶつかる恐れがある場合は、車輪をロックしてください。

手動の緊急下降装置

「緊急下降装置」の表示のあるハンドルを上下させて緊急下降をします。リフトされる利用者の体が しっかりした表面に達するまで、この動作を続けて下さい。手動でスリングバーを押し下げ、スリングバーの位置が低くなり、スリングのストラップ・ループのフックを 外せる ようになるまでハンドルを上下に動かし続けてください。

△ リフト中にロックされた車輪は、転倒の可能性を高めます。



手動緊急下降後/リフトレベルを復元して下さい

もしもリフト・ストラップが緊急下降機能を使用した際に延ばされたなら、リフトの間隔高は以前より低くなります。最高のリフト高を復元するには、リフト・ストラップをもとの長さに戻してリセットしなければなりません。

次の要領で行って下さい:

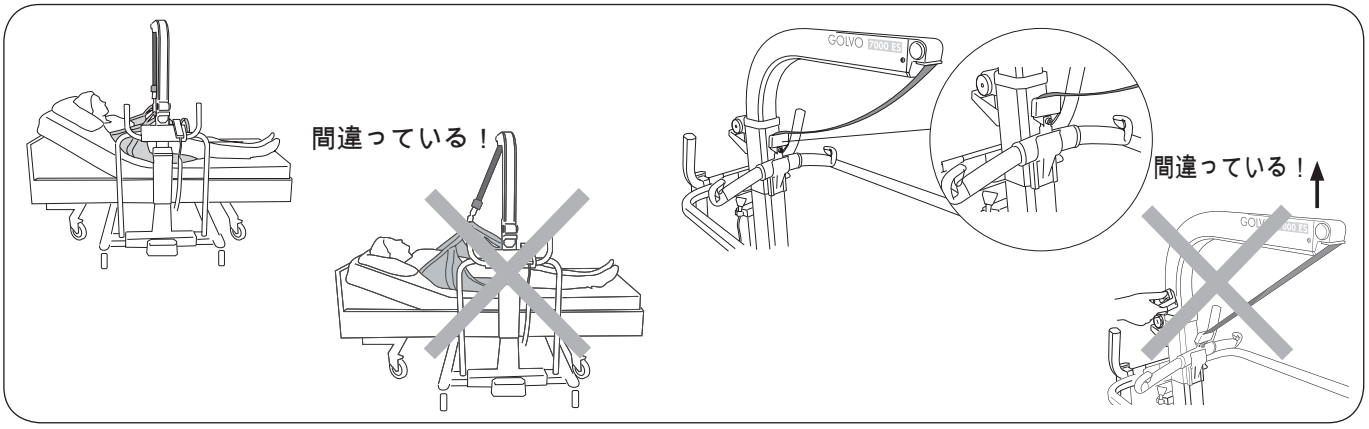
1. ストラップを緊急下降装置より上で外して下さい。スリングバーをリフト・アームより高くするか、ストラップが垂れ下がる様に、他の人にスリングバーを持ちあげてもらいます。
2. 左手で「緊急下降」と記されたハンドルを上下させます。同時に右手で黒いツマミ(a)を時計回りに廻して下さい。ストラップの赤い印が緊急停止装置の直ぐ上になるまで、この手順を繰り返して下さい。

リフト間隔レベルの調節

スリングバーをより低いレベルに下げる必要がある場合には、緊急下降装置を利用してリフト・ストラップを延長する事が出来ます。可能な最 高レベルにも影響が及ぶので、必 要以上にストラップを伸ばさないで下さい。

リフト間隔の低下が有利に働く例としては、最下位の位置にてストラップのループがスリングバーのフックに到達しないスリングを使って床からのリフトを行う時があります。

次の要領で行って下さい:スリングバーを取り付けるのと同時に赤い緊急下降用ハンドルを押し下げて下さい(スリングバーを、もう片方の手で押し下げて下さい)。これでストラップは延ばされて、スリングバーが下げられます。必要なストラップの長さになるまで繰り返して下さい。



バランスの悪いリフトは避けましょう

リフトの際はリフト・ストラップが垂直であり、リフト支柱に平行である事を確認して下さい。そのためには、ベッドの下のゴルボの位置を考慮して下さい。正しい位置にするためには、幅の調節及び/もしくはベッドの下でのゴルボの位置を変えて下さい。

不安定になる上にストラップの摩耗を招くので、荷重のバランスが悪い状態でリフトは行わないで下さい。

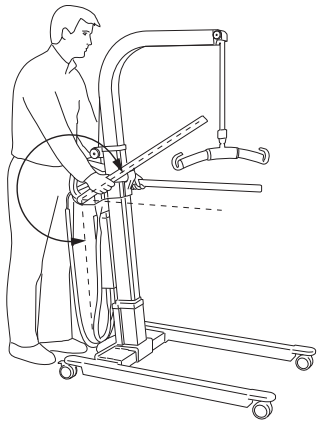
△ バランスの悪いリフトは転倒の危険性をもたたします！

スリングバーの固定

リフトが使用中で無い場合や、 荷重なしで移動する場合には、スリングバーを止め具パネルに止めることをお勧めします。

止め具パネルは、スリングバー・ユニバーサル350、450、600 (全モデル)を止めることを目的としています。

△ スリングバーが止め具パネルに止めてある時は、スリングバーが外れてパネルから飛び出した場合に危険であり、人身障害あるいはリフトの損傷の原因となるので、リフトを上昇させないで下さい。

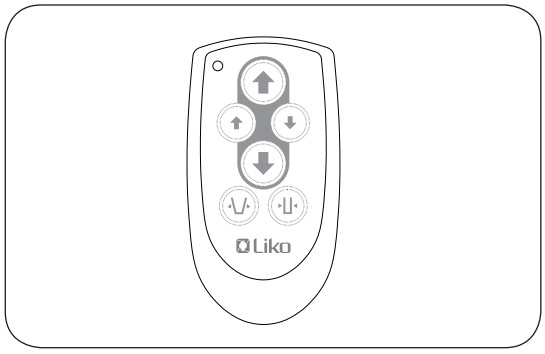


アーム· レスト

必要であれば、アーム· レストを、腕を置く状態から支持する位置に下げられます。アーム· レストには二つの目的があります。それは、 利用者の安心感を高めることと、介護者によるリフトの移動を楽にすることです。

△ 利用者の部屋間の移動にリフトを使用する際は、アーム· レストは支持の位置に下げて下さい！

赤外線ハンドコントロール



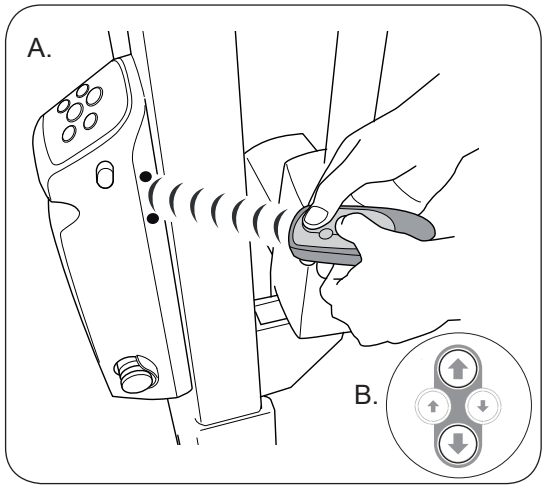
ハンドコントロールにはボタンが6つあります。

- 上
- 下
- 上(より低速)
- 下(より低速)
- 脚部拡張
- 脚部狭め

24時間以上リフトを使用しなかった場合には、コントロール· ボックスのいずれかのボタンを押してシステムを使用可能にしてから赤外線ハンドコントロールが使用出来ます。

一つの赤外線ハンドコントロールを数個のリコ利用者リフト (同じ赤外線システムを装備された天井走行リフト及び床走行リフト) に使用出来ます。更に他のハンドコントロールを使用する場合には、 下記 Aの説明に従って赤外線コントロールを稼働しなければなりません。

重要! 赤外線でコントロールされたリフトが一つ以上同室に存在する場合には、一つのハンドコントロールが数個のリフトを操作してしまうのを避けるために、それぞれのリフトに固有の伝達コードを与える必要性があります。操作ごとに固有の伝達コードが作成されます B。



A. 赤外線コントロールの使用:赤外線ハンドコントロールをコントロール· ボックスの赤外線受信機から約 20 cm の距離で持ち、ハンドコントロール上の大きな上下ボタンを同時に2秒間押します。信号が発信されると、機能が使用可能になります。これで、リフトは赤外線ハンドコントロールを使って利用出来ます。

B. 室内の他のリフトが手持ちのハンドコントロールの影響を受けないかを確かめて下さい。もし、他のリフトが手持ちのリフトで影響されるようならば、 使用されるリフトの操作パネルの大きな上下ボタンを押して下さい。信号が発信されるまで、両方のボタンを同時に押し続けて下さい。これでリフトに特有の伝達コードが割り当てられました。

ここで赤外線コントロールを使用可能にして下さい。上記 A 参照。

操作パネル

リフトはコントロール· ボックスの上にある操作パネルから直接操作出来ます。操作パネルには、対応するシンボルのある幾つかの表示灯があります。下記の説明参照。

ハンドコントロールが使用可能 (緑灯)
- コントロール· ボックスがハンドコントロールからシグナルを受信している時に点灯します。

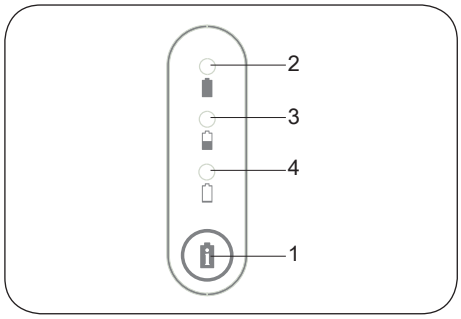
過重 (橙灯)
リフトの推奨最高荷重を超えた時に点灯して、リフトは停止します。3秒後に表示灯は消えて、リフトは再び稼働します。最高荷重については、12ページ参照。

サービス表示 (橙灯)
- Iサービスが必要な場合に点灯します。リコの公認サービス技術者にご連絡下さい。.

ELT, 耐用年数 (赤灯)
- リフト中に光が 点滅 する場合は、リコ· ダイアゴニスティック· システム™ が リフトの 耐用年数 が終わりに近付いている事を表示しています。
リコ公認の サービス技術者にご連絡下さい。

△ リフト中に ELTが 継続的に 継続的に 光っている場合には、リフトの使用を終了にして下さい。
リコ公認の サービス技術者にご連絡下さい。

バッテリーの充電



バッテリーの容量
i ボタン(1)を押して、バッテリーの容量を確認して下さい。次の情報が出ます：

2 – 緑色灯: 電池容量の 50% 以上が残っています。
3 – 橙色灯: 電池容量の25–50 %が残っています。
4 – 橙色灯: 電池容量の0% -25%が残っています。

表示ランプは三十秒程点灯し、その後消灯します。リフトの使用中にも、バッテリーの容量は表示されています。

最大の耐用年数使用するためには、定期的なバッテリーの充電が重要です。リフトの使用後、或いは毎晩の充電をお勧めします。約5時間後に最高充電容量が得られます。バッテリーが 完全に充電された場合には、充電器は自動的にトリクル充電に切り替わります。

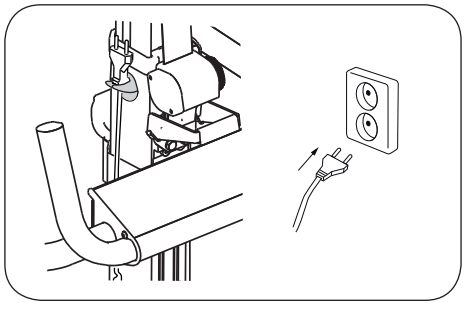
充電中は、灯は交代で点灯 (橙、橙、緑) します。充電の完了は 点滅する緑灯で表示されます。操作時間が目に見えて短縮された場合には、バッテリーの交換が必要です。充電を中止して、バッテリーを交換して下さい。

充電は、バスルームなど湿気の多い場所で行なわないでください。

リフトは緊急停止がかかった状態では充電出来ません。

注意！ リフトが長期間に渡り使用されない場合には、バッテリーは充電器に接続しておいて下さい。

充電



組込み型充電器

充電ケーブルがコントロール· ボックスの差し込みに接続している事を確認して下さい。6ページ参照。

充電ケーブルを電源コンセントに接続して下さい (100-240 V AC)。

充電の完了は、バッテリーの点滅する緑灯で表示されます。

充電ケーブルが伸びてしまった場合は、ケーブルが引っ掛ったり、切れやすくなるため、交換してください。

注意！充電用ケーブルが壁のコンセントに接続されている間、リフトを使用することはできません。

古くなったバッテリーは、 最寄りのリサイクル施設もしくは Liko社の 代理店にお持ちください。

最大荷重量

リフト、スリングバー、スリング及びその他使用されるアクセサリーにより組み立てられたリフト・ユニット中の異なる製品には異なる最大荷重が適用される事があります。アクセサリーを含めて、組み立てられたリフト・ユニットの最大荷重は、常にその部品うち最低の最大荷重レートを持つもののそれとなります。例えば、200ｋｇの認可を受けたゴルボには300ｋｇの認可を受けたリフト・アクセサリーが装備できます。この場合は、最高荷重200ｋｇが組み立てられたリフト・システムに適用されます。ご質問については、リフト及びリフト・アクセサリーのマークを見て頂くか、リコの代理店にご連絡下さい。

おすすめのリフト・アクセサリー

△ 公認のもの以外のリフト・アクセサリーの使用は危険を伴います。

ゴルボ床走行型リフトの一般的に推奨されるスリングバー及びアクセサリについては下記に詳細があります。

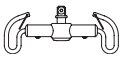
スリングバー或いはその他のリフト・アクセサリーが交換されると、リフトの最高リフト高が影響を受けます。リフト・アクセサリーを交換する前に、必ず交換後にリフトが要求されるリフト 高を得られ、リフトが使用される状況を扱えるかを確認して下さい。

適切なスリング及びその他のリフト・アクセサリーの選択に関しては、「ゴルボ」 及び「リフト・アクセサリー」のパンフレットをご参照ください。又, スリングの選択について更にアドバイスをお求めの場合は、各スリング・モデルの取扱説明書をご参照下さい。リコのスリングバーとリコのスリングの組み合わせ方につ いてもご案内しております。

ご相談やLiko社の製品については、Liko社の代理店にお問合せくださるか、または、www.liko.com をご覧ください。

スリングバー・ミニ 220
最大荷重量205 kg

商品番号 3156005



ユニバーサル・ スリングバー350*
最大荷重量300 kg

商品番号 3156074

ユニバーサル・ スリングバー450*
(ゴルボについては標準装備)
最大荷重量300 kg

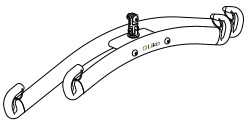
商品番号 3156075

ユニバーサル・スリングバー600*
最大荷重量300 kg

商品番号 3156076

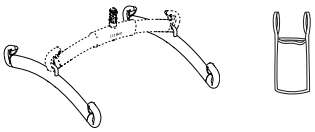
ユニバーサル・ツインバー 670*
最大荷重量300 kg

商品番号 3156077



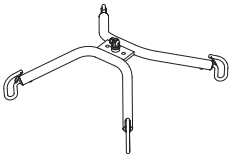
ユニバーサル・サイドバー450
バッグを含む
最大荷重量300 kg

商品番号 3156079



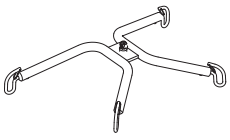
スリング・クロスバー450*
最大荷重量300 kg

商品番号 3156021



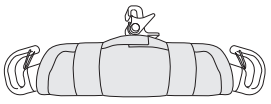
スリング・クロスバー670*
最大荷重量300 kg

商品番号 3156018



スリングバー保護バッグ、パディ 30
(ユニバーサル・スリングバー350, 450 and 600、
及びスリングバー・スリム 350に適合)

商品番号 3607001



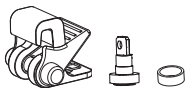
* クイック・リリース・フック付きもご用意

スリングバー用バッグ　　商品番号 2001025

クイック· リリース· フック
リコのクイック· リリース· フックは、リコの床走行及び据置式リフト のリフト· アクセサリーを素早く交換するシステムです。ゴルボに関しては、クイック· リリース· フックの使用には、 Q-リンク の装備が必要です。
クイック· リリース· フック· ユニバーサルは、ユニバーサル· バー 350、450、600（商品番号 3156074 ~ 3156076）に適応しています。
またクイック· リリース· フックTDMは、スリングバー· ミニ220（商品番号3156005）、スリング· クロスバー 450、670（商品番号 3156021と 3156018）、· ユニバーサル· ツインバー670（商品番号 3156077）に適応しています。
クイック· リリース· フック のシステムの利点については、「クイック· リリース· フックのガイド」を ご覧ください。Liko社のホームページ、www.liko.com からダウンロードできます。或いは、リコの代理店 にご連絡下さい。

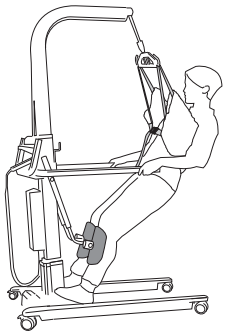
Q リンク
商品番号31590005

クイック· フック· ユニバーサル
商品番号3156508

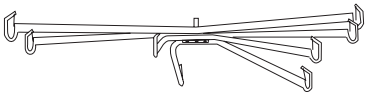


クイック· フック TDM
商品番号3156502

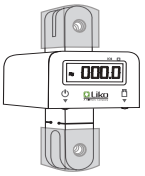
ゴルボ用スタンデイド· セット　　商品番号 2001020
スタンデイド· セットは身体的に安定した利用者の、車椅子とトイレ或いはベッドと車椅子間等の短い移動を目的とします。 利用者はリコ· セーフティ· ベスト或いはリコ· サポート· ベストを使って半分起立した位置にリフトされます。
リコ· サポート· ベスト及びリコ· セーフティ· ベストの利用については、該当する取扱説明書をご覧下さい。



水平リフト
Liko社製品の水平リフトは殆ど全てのゴルボに使用できます。
詳しくは最寄りのリコの代理店にご連絡下さい。



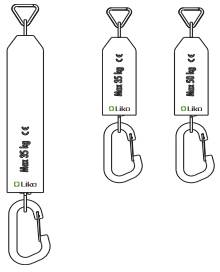
スケール (体重計)
ゴルボと組み合わせて利用者の体重を測る場合には、リコ· スケール 350をおすすめします。最大荷重量350 kg。
リコ· スケール350は、欧州指令NAWI 90/384(非自動重量計）に従って認可されています。
詳しくは、 最寄りのリコ代理店 にご連絡下さい。



リコ· スケール350
商品番号 3156228

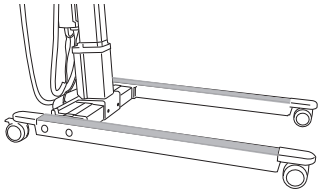
ジャンプ / 歩行訓練用のサポート· スプリング
例えば、歩行訓練でより柔らかい、跳ね上がりの 動作をもたらすために伸縮性のスプリングのご用意があります。 スプリングには次の 三つの異なるバージョンがあります。

ロングサイズ、28 cm, max 70 kg 使用者の体重/対	商品番号 3156511
ショートサイズ、22 cm, max 70 kg 体重/対	製品番号 3156512
ショート、 22 cm, max 100 kg 体重/対	商品番号 3156513

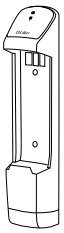


詳しくは、リコ· マスター· ベストのモデル60及び64或いはリコ· リフトパンツ· モデル92の取扱説明書をご覧下さい。

レッグ・プロテクタ・セット・ゴルボ
グレー、対、Golvo 7000, 8000に適応　商品番号2006011G
グレー、対、Golvo 7007, 8008に適応　商品番号2006012G



赤外線ハンドコントロール用コード　商品番号2006030



壁備え付けバッテリー充電器　商品番号2004108

予備バッテリー　商品番号 2006107

簡単なトラブル解決法

リフトが赤外線ハンドコントロールで制御出来ない。

1. 緊急停止が稼働されていない事を確認して下さい。
2. 充電ケーブルが 壁のコンセントに接続されていないことを確認します。
3. 赤外線ハンドコントロールがバッテリーの交換を表示していないかを確認します。
4. リフトが24時間以上稼働されていなかった場合には、操作パネルの任意のボタンを押してシステムを使用可能にして下さい。
5. 赤外線ハンドコントロールが使用可能である事を確認して下さい。
6. 引き続き問題がある場合は、下記の「操作パネル経由でリフトが 制御出来ない」をご覧下さい。

操作パネル経由でリフトが制御出来ない。

1. 緊急停止が稼働されていない事を確認して下さい。
2. 充電ケーブルが 電 源コンセントに接続されていないことを確認します。
3. 電池の容量を確かめて下さい。
4. ケーブルがコントロール· ボックスに正しく接続されているかを確認します。
5. バッテリーの 接触板に不良及び破損が無いかを 確認して下さい。
6. 問題が解決しない場合は、Liko社にご連絡下さい。

充電器が機能しない。

1. 緊急停止が稼働されていない事を確認して下さい。
2. バッテリーが正しく取り付けられている事を確認します。
3. 電池パックの接触板に不良及び破損が無いかを確認して下さい。
4. 問題が解決しない場合は、Liko社にご連絡下さい。

リフトが高い位置から降りない。

1. 緊急停止が稼働されていない事を確認して下さい。
2. 電池の容量を確かめて下さい。
3. 赤外線ハンドコントロールが電池交換を示している。
4. 表示された電動緊急下降装置を使い、利用者を しっかりした表面に降ろして下さい。
5. 選択された手動緊急下降 装置を使い、利用者を しっかりした表面に降ろして下さい。
6. 問題が解決しない場合は、Liko社にご連絡下さい。

リフトが最大の吊り上げ高さに達しない。

1. リフト間隔レベルが正しく設定されているかを確認をして下さい。
2. 問題が解決しない場合は、Liko社にご連絡下さい。

変わった音がする場合。

Liko社代理店へお問合せください。

点検と保守

お手入れと保守

スムーズな使用の為に、いくつかの点をリフトが使われた日には確認して下さい。

- リフトの点検をして、外部の損傷が無いか確認して下さい。
- スリングバーの取り付けを確認して下さい。
- リフト用ベルトに擦り切れが無いか点検し、捻れがない事を確認して下さい。
- 安全ラッチの機能を確認して下さい。
- リフト動作と脚部調節の整合性を確認して下さい。
- リフト間隔レベルが正しく設定されており、緊急下降が正常に動くことを確認して下さい（電動 及び手動）。
- リフトを使用した日は、バッテリーを充電し、充電器が機能することを確認してください。

必要に応じて、温水或いは消毒液 を使って、濡れた布でリフトを拭いてください。又、車輪が埃で汚れていないかを確かめて下さい。注意！フェノールや塩素を含む洗浄洗剤を使用しないでください。アルミニウムやポリアミド材が傷むことがあります。

△ リフトを流水にさらさないで下さい。

サービス

リフトの定期点検を、少なくとも年に一回は行って下さい。

△ 定期点検、修理および保守作業は、Liko社の保守規定に従って、Liko社認定のサービス員のみが行ない、また部品は純正部品のみをご使用ください。

サービス契約

リコ 商品の維持と定期点検に関するサービス契約の締結をリコ社は提供いたしております。

耐用年数

リコのご提案に よる正しい取り扱い、サービス、及び定期点検を受けた商品の耐用年数は10年です。

輸送と保管

輸送中、またはリフトを長期間使用しない場合、緊急停止ボタンをはめ込んで下さい。リフト は、10～40 ℃、相対湿度30％から75％、気圧700から1060 hPa (ミリバール) の環 境で輸送または保管してください。

リサイクル

Liko製品のリサイクル方法については、 ウェブサイトをご覧下さい：www.liko.com。

製品変更

Liko社の製品は常に改良されており、予告なく製品変更をする権利を保持します。詳しい情報、ご相談、また製品の更新については、Liko社代理店へお問合せください。

Design and Quality by Liko in Sweden

Liko社は、品質保証規定ISO 9001およびそれに相当する医療機器企業のための認可規定ISO 13485、また環境認可規定ISO 14001に準拠しています。

© 著作権 Liko AB 2010-06

Liko
A Hill-Rom Company

www.liko.com

製造業者：
Liko AB
SE-975 92 Luleå
Sweden
info@liko.se